



スタート前の集合写真。すっかり松本ロゲイニングの定番となった。スタートは松本市浅間温泉の共同浴場前から。参加者全員に入浴券が配られ、フィニッシュ後、表彰式までの間に入っていた。

## 松本市スポーツコミッションのスターティングイベントがコレ。

2013年9月14日(土) 長野県松本市  
松本ロゲイニング 2013 Autumn Stage

### 家族結果

- |   |       |      |       |
|---|-------|------|-------|
| 1 | 1083点 | 宮崎崇徳 | 宮崎寿美子 |
|   |       | 宮崎愛海 |       |

### 混合結果

- |   |       |      |      |
|---|-------|------|------|
| 1 | 1362点 | 中野茂暢 | 榎原育代 |
| 2 | 1055点 | 花木睦子 | 小山温史 |
| 3 | 1050点 | 豊沢吉弥 | 豊沢弥生 |

### 女子結果

- |   |      |       |       |
|---|------|-------|-------|
| 1 | 753点 | 小宮聖子  | 布山陽子  |
|   |      | 曾根原真澄 |       |
| 2 | 505点 | 高松和子  | 宮崎まどか |
|   |      | 藤本あゆみ |       |

### 男子結果

- |   |      |      |       |
|---|------|------|-------|
| 1 | 958点 | 篠原秀一 | 山本多佳士 |
| 2 | 866点 | 永田忠寛 | 高野晴之  |
|   |      | 井上真一 | 四野宮良周 |
| 3 | 813点 | 花村賢  | 袖山慎一  |
|   |      | 瀧澤克彦 |       |

### 女子ソロ結果

- |   |       |      |
|---|-------|------|
| 1 | 1145点 | 田中陽子 |
| 2 | 1040点 | 清谷千鶴 |
| 3 | 990点  | 服部早苗 |

### 男子ソロ結果

- |   |       |      |
|---|-------|------|
| 1 | 1572点 | 瀧川英雄 |
| 2 | 1512点 | 鈴木真  |
| 3 | 1407点 | 清谷智弘 |

## 信州・松本の魅力凝縮

筆者・木村の住む長野県松本市は山岳観光の窓口として全国的には知られているが、地元ではその感覚はあまりない。むしろ市街地にある国宝・松本城を中心とした城下町であり、山際にある温泉地の印象が強い。

今回の松本ロゲイニングはそんな松本ローカルをコンセプトにしたコースだった。

標高600mにある松本城と城下町の遺構が残るコントロール。山際に広がるふたつの温泉街「浅間温泉」と「美ヶ原温泉」。標高1000mに浮かぶ高原の湖「美鈴湖」。これらの間にある里山の中を通るロングトレイル。わずか3時間の競技時間の中で、地元の人も知らない松本をたっぷり楽しんでいただいた。



浅間温泉にある川島芳子旧宅看板地図で示された地点に到着した証拠にデジタルカメラで撮影を行う。ここに清朝の王女が住んでいたとは地元の人にも知られていない。

## ISOM 仕様のロゲイニング

今回の松本ロゲイニングの地図の半分はニューテレンである。この部分をどのように地図表現するか考えながら現地調査を進めてきた。結局今回は地図を ISOM 仕様(国際オリエンテリング地図基準)で図化することにした。

広大なロゲイニング地図を ISOM化するのには通行可能性を省略したとしても大変な作業となる。しかしこの里山地域を楽しむには ISOM 仕様の地図が最適だと判断した。

今のところ松本ロゲイニングは ISOM 仕様の地図ですべて実施してきたが、それは競技のコンセプトに合わせただけのこと。毎回 ISOM であるとは限らない。

## 楽しむのは主催者

地図調査を行ったのは8月。さすがの信州でも松本盆地は灼熱となる。そんな8月で唯一気持ちよく走れるのは早朝だけ。

今回の地図調査はすべて早朝の短い時間にランニングを兼ねて実施している。正確な測量地図を基に、現地を走り、地図表現を確認してゆく。たまに新しい道を発見するとそこを駆け抜けて行く。身に着けた GPS が走行軌跡を記録し、あとからパソコン CAD 上で確認、作図することができるのだ。

気持ちよい汗をかいた後は、テレン内の温泉共同浴場の朝湯に浸かって、あぁいい気分。コンビニで朝のカフェ



ラテを飲んでいるところ出勤時間となる。これで一仕事終えた気分でおまけに風呂上り。もう会社に行きたくなるが、何とか毎日出勤していた。灼熱の8月。松本ロゲイニングをネタに一番楽しんでいたのは主催者だ。



トレイル調査につきあってくれた長野県協会メンバー。トレーニングを兼ねて山道を駆けあがる。松本市街地を見下ろす里山の展望台にて

## 始動・松本スポーツコミッション

このイベントの主管者は松本市スポーツコミッションプロジェクト。松本市の外郭団体として観光コンベンション協会というのがありますが、その内部組織である。映画やテレビロケをサポートするフィルムコミッションというのが全国に広がっているが、スポーツ

コミッションはスポーツ・ツーリズム（スポーツ観光）を推進する組織である。松本の地域特性である文化と山岳景観を組み合わせアウトドアスポーツを誘致するだけでなく、自分たちからも提案・主管する。

市議会からも承認された取組は、やっと2013年4月に活動を開始したばかり。その事業として行われたのが、この松本ロゲイニングと、翌日に行われた美ヶ原トレイルランツアーである。

こう書くと大袈裟な事業を想像するが、その実態は過去2回に長野県オリエンテーリング協会主催で行われた松本ロゲイニングをそのまま受け継いだもの。イベントはプロデューサーの木村がコントロールしている。

街興しの一つとしてロゲイニングが取り入れられる例がここ数年増えている。それは望ましいことだ。だが、地方自治体のスポーツコミッションとして、そこの市民が競技をコントロールしている例は、おそらく松本だけだろう。

## 究極のスポーツツーリズム

松本市がこうした活動をしているのには訳がある。松本は「健康寿命延伸都市」を宣言し、生涯スポーツの普

及を目指している。入院生活で長生きするのではなく、健康で長生きしようというもの。

お金の話をすれば、健康でなければ医療費やその付帯施設に莫大な行政支出が必要となってしまいます。特に平均寿命日本一という長野県では高齢者の健康推進が大きな課題となっているのだ。

松本市長は医師の出身。その福祉に向けての意思が生涯スポーツ振興だ。生涯スポーツと観光との相乗効果を願って動き出したのがスポーツコミッションである。

ロゲイニングは競技自体が小さな旅を提供する。スポーツツーリズムとの相性がバツグンであることが評価につながり、今回の事業抜擢となった。

とりえず自分のモチベーションが続く限りはこの取組みに関わってゆこうと思う。松本ロゲイニングはまだまだ進化する。

(木村佳司)

